

新市の 道筋を求めて

言 提 せ 活

閉会中の 所管事務調査

委員会は、所管に属する事務について、手続きを経たうえで、閉会中に調査することができます。

今回は、各常任委員会が、健全財政の確立や施設整備、産業振興について調査し、当局に提言をしました。

職員一丸となった取組みと 市民参画による計画づくりを

総務常任委員会

総務常任委員会は、簡素で効率的な行政運営を進めるため、南九州市の進むべく道筋を定める総合計画及び行政改革大綱について調査しました。

また、このことについて岡山県津山市、島根県浜田市の取り組みを調査・研修しました。

に具体的な数値目標、金額効果を挙げ、担当課と実施年度を明確にしている。進行管理は、市民各層から構成されている行政改革推進委員会に進捗状況などを年2回報告し、委員からの意見を改革の推進に活かしている。

津山市の総合計画は、10年間を前期・中期・後期の3段階の計画とし、策定に当たっては、大学の研究所による指導、助言の部署を設け、より実行性のあるものとしている。また、市民の意見を反映させるため、地域別懇談会のほか、産業別の懇談会も実施している。

浜田市の総合計画は、地元大学との連携のもと全職員が参画し、職員自らの手により作られており、施策ごとに主な事業の現況や目標を明記し、進捗状況の把握・管理がされている。



浜田市での研修

○総合計画及び行政改革は、具体的テーマに基づいて、数値目標や実施年度を明記し、達成度を公表すること。

○策定に当たっては、各方面からの市民参画が必要であり、地域や産業別の意見を広く取り入れること。

提 言

○全職員が行財政改革を断行する意識を持つことが大事であり、計画の作成、事業実施に主体的に参画し改革を進めること。



津山市の総合計画

ごみ・し尿処理施設の計画は

文教厚生常任委員会

提 言

文教厚生常任委員会は、改修が急がれる南さつま衛生センター、最終処分場が計画されている顕娃ごみ処理場など、衛生処理施設の現況と今後の計画について調査しました。

○顕娃ごみ処理最終処分場建設については、指宿広域市町村圏組合において再度検討すること。

また、広島県坂町、庄原市及び東広島市の取り組みについて研修しました。

○南薩地区衛生管理組合のし尿処理施設は、施設整備に向け早急に取り組むこと。

庄原市のし尿処理施設は、膜分離装置と活性炭処理により弱色度の放流水となっている。また、施設全体を建屋で覆い臭気対策を施している。

○衛生処理施設は、1日たりとも休止できない施設であり、構成首長同士の真摯な話し合いにより早急に将来のめどを立てること。

東広島市の最終処分場

は、コンクリートピットの被覆型処分場となっており、処分場自体を屋根で覆うことにより、雨水を完全に遮断することが可能で、風による飛散を防止できる施設である。



東広島市の最終処分場を調査する委員

競争力のある 産地育成に向けて

産業建設常任委員会

本市の基幹作物は、お茶、甘しょなどであるが、その他の農業振興を図るうえで、園芸振興対策について、高知県安芸市、高知県農業技術センター、岡山県倉敷市の取り組みを調査しました。

○園芸振興センターでは、研究成果を、いち早く農家に普及させている。

安芸市のナスは、美しい濃紺色で、淡白な癖のない柔らかい味わいが高い評価を受け、日本一の生産量となっている。ナス農家は、減農薬による環境保全型農業に取り組

んでおり、産学官が一体となって病害虫管理技術の研究・導入を展開している。

倉敷市は、端境期の1月から3月に出荷できる「新旬ごぼう」に取り組んでいる。さらに、出荷時期の拡大により2年間で栽培面積が5倍になり、生産が増加している。

○顕娃農業開発研修センターの機能を発揮させ、研究成果のいち早い普及に努めること。

提 言

○地域ごとに重点品目を選定し、その作物の産地化及び団地化に取り組むこと。

○施設整備補助のあり方について十分検討し、農家のニーズに即したものとすること。

○後継者育成については、安定的な経営が続けられるよう十分な施策を講じること。



顕娃農業開発研修センターのいちごハウス



高知県農業技術センターでの研修